

A5082 東京メトロ 半蔵門線 08系 基本 6両セット

2019年度
再生産

予価:29,800円(税別)

JANコード*:136959 カートン内入数:12

A5083 東京メトロ 半蔵門線 08系 増結 4両セット

2019年度
再生産

予価:18,200円(税別)

JANコード*:136966 カートン内入数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	2003(平成15)年に営団地下鉄(現:東京メトロ)半蔵門線の水天宮前～押上間延伸開業に際して登場したのが08系です。営団地下鉄としては最後の新形式として登場しました。車体の基本構造は他の0系シリーズ同様のアルミ押出型材を多用した軽量車体で、腰部にラインカラーの紫とアクセントのピンク・ホワイトの帯が入られています。前面は東西線用05N系をベースにした天地方向に二次元曲面を二つ組み合わせた基本形状と、八角形をイメージして識別帯と前面窓、灯具をデザインしたスタイリッシュなものが採用されました。乗り入れ先の高速運転に対応するために主電動機出力の向上とMT比の増加が行われ、営団地下鉄では初めて120km/h運転に対応した性能を持つほか、営団地下鉄では初めてシングルアームパンタグラフが採用されたことも特徴のひとつです。10両編成6本が製造され、現在も半蔵門線のエースとして乗り入れ先の東武線、東急線を含めた広範囲で活躍を続けています。2004(平成16)年4月1日の東京メトロ発足に伴い、営団地下鉄の「Sマーク」の代わりにシンボルマークの掲出が行われました。2013(平成25)年頃から前面窓に掲出されていたマークが順次撤去されています。
商品概要	・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実 ・数多くのリクエストにお応えして東京メトロ08系を再生産 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

アルミボディに紫+白の帯。現行仕様



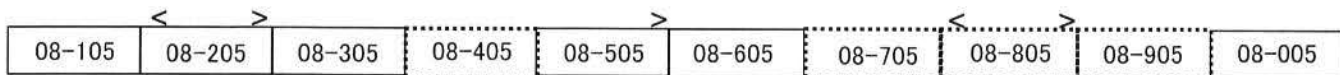
- 前面窓のマークが省略された後の姿
- フルカラーLEDを再現した行先シール付属

東京地下鉄株式会社商品化許諾申請中

編成図

A5082

A5083



ライト
←押上・久喜・南栗橋

(M)

ライト
渋谷・中央林間→

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー自連・灰:F0004

付属品 行先シール